

採用担当者のホンネ調査【～採用の常識・非常識～】

面接時間が長いのは“脈アリ”のサイン！？

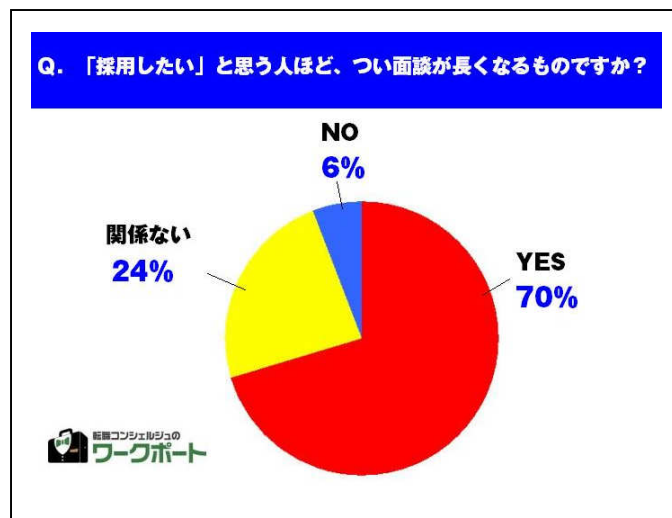
7 割の面接担当者が「採用したい人ほど面接が長くなる」と回答。

総合転職エージェント 株式会社ワークポート（東京都品川区、代表取締役社長 CEO：田村高広）は、ワークポートの取引企業の採用担当者に向けて実施した“採用担当者のホンネ調査【～採用の常識・非常識～】”の結果をお知らせ致します。

【内容】

Q. 「採用したい」と思う人ほど、つい面接が長くなるものですか？

やはり「採用したい」と思う人ほど、ついつい話が盛り上がり面接が長くなってしまいうで、実に 7 割もの採用担当者が「YES」と答えました。面接時間が長くなってしまいう理由としては「より具体的に面接対象者の方を知りたいと思うため」（40％）や、「会社の思いや魅力ををしっかりと伝えたいため」（6％）などが目立ちました。平均的な面接時間は 30 分～1 時間程度のようなのですが、面接時間が長くなるのはある意味「脈アリ」のサインと捉えてもよさそうです。面接で話が盛り上がってきたら、面接官に聞きたいことを積極的に聞いてみたり、心に秘めた熱意を具体的に伝えるなど、上手にアピールしてみるとよいでしょう。



【調査概要】

調査内容：採用担当者の意識調査

調査対象：ワークポート取引企業の採用担当者（67 社）

調査期間：2014 年 9 月 16 日（火）～2014 年 10 月 3 日（金）

アンケート掲載ページ：http://www.workport.co.jp/recruit_data/detail23.html

■本リリースに関するお問い合わせ

株式会社ワークポート 担当：横山

フリーダイヤル：0120-77-1049（代表）

E-mail：otoiawase@workport.jp

所在地：〒141-0032 東京都品川区大崎 1-2-2 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー9F

URL：<http://www.workport.co.jp/corporate/>